

『＜教育と社会＞研究』

創刊号～第 17 号 総目録

＜教育と社会＞研究会は 17 年にもわたり、研究成果を発表し続けてきました。研究の歩みと研究成果の蓄積を体系化し、再確認するために、研究誌掲載作品の目録を作成しました。

『＜教育と社会＞研究』編集委員会

第一号 1991

『怠学の研究 新資格社会と若者たち』

創刊の辞

【論文】

- 中内 敏夫 日本の商人と商人家族のおこなう教化と教育の歴史(上)
- 長谷川 裕 「規律・訓練装置」としての学校—現代日本におけるその卓越と危機
- 久富 善之 K・マンハイムにおける「教育」概念くみ換えと、latent なるものの発見—「学校の制覇」への挑戦
- 中内 敏夫 <緩方教師>師井恒男の誕生と転生
- 平岡さつき 一到達度評価成立史研究序説(上)
- 関 啓子 ソヴィエト教育学・教育史研究再考

【研究ノート】

- 内島 貞雄 近代日本における発達論検討の視点—子ども研究の思想と「科学」
- 朱浩東 中国における日本教育の研究

【書評】

- 藤岡 貞彦 波多野完治著『生涯教育論』再読
- 教育社会学共同研究室私史

第二号 1992

【論文】

- 中内 敏夫 日本の商人と商人家族のおこなう教化と教育の歴史(中)
- 安藤 聡彦 バトリック・ゲディスの「自然学習」推進活動
- 平岡さつき <緩方教師>師井恒男の誕生と転生—一到達度評価成立史研究序説(中)
- 朱浩東 戦後教育改革期の地域教育計画—中央教育研究所と「川口プラン」

【研究ノート】

- 関 啓子 中国教育の素顔に接して—日本・中国・アジアの比較教育研究のための準備ノート

【資料紹介】

- 久富 善之 キール大学の「マンハイム文書」

【書評】

- 長谷川 裕 佐々木 賢

第三号 1993

【論文】

- 中内 敏夫 日本の商人と商人家族のおこなう教化と教育の歴史(下)
- 平岡さつき <緩方教師>師井恒男の誕生と転生—一到達度評価成立史研究序説(下)
- 佐藤 幸也 宮城における『ふるさと教育』の研究
- 関 啓子 民族の自立と教育—旧ソ連の場合
- 太田 孝子 アーミッシュ共同体の人間形成思想—「よりよく」概念を中心に(上)
- 青木 利夫 メキシコ公教育大臣ホセ・バスコンセロスの「混血化の思想」とその苦悩

【資料紹介】

- 久富 善之 イギリスのK・マンハイム(上)

【書評】

- 小澤 浩明 ブルデュー社会学理論の系譜—『再生産 La reproduction』再読

第四号 1994

【特別企画】＜教育と社会＞研究の新しいデザイン

< I >

- 教育的なものの概念について—中内敏夫最終講義—
- 連続講演会 教育の社会史・教育評価研究のフロンティア

< II >

- バジル・バーンスタイン 教育、再生産とブルデュー：いくつかの考察

【論文】

- 藤岡 貞彦 生涯学習の社会史(上)

【研究ノート】

- 太田 孝子 アーミッシュ共同体の人間形成思想—「よりよく」の概念を中心に(下)
- 柿内 真紀 ナショナル・カリキュラム(英国)研究ノート—Dearing Report に至る再検討の動向

第五号 1995

【論文】

- 仲嶺 政光 共同体構造における家族と青年のアイデンティティー—比嘉春潮の知識人としての確立と伝統的世界をめぐって—
- 柿内 真紀 イングランドの学校カリキュラムの課題—ナショナル・カリキュラム再検討及び改訂動向と関わって—
- 中田 康彦 1980年代アメリカ教師奨励制度改革の理論動向

【研究ノート】

- 鮮干香蘭 日本における生涯学習の源流—土田杏村のプロレットカルト論を素材にして—

【資料紹介】

- 久富 善之 イギリスのK・マンハイム(下)

第六号 1996

【特別寄稿】

- レン・バートン 教育をめぐる《政治》・市場化とインクルーシブ・エデュケーションを求める闘い

【論文】

- 柿内 真紀 イングランドのナショナル・カリキュラム制定過程における一考察—政府の対応を焦点に
- 小川 年史 郷土教育実践に関する一考察—石橋勝治の郷土認識と教育実践—
- 山本 由美 公選制教育委員会と社会教育—千葉県野田町教育委員会の事例から
- 張 勇 中国養生理論における健康観—個人差についての一考察—

第七号 1997

【特別寄稿】

- G. ウィッティ 教育政策と教育社会学—教育の市場化を越えるアクティブな市民性を求めて—

【論文】

- 久富 善之 英国におけるカール・マンハイム(上)—社会学的教育理論展開の社会史と個人史—
- 前田 晶子 バフチンによるルネッサンス期の人間像研究—新しい人間像の引き上げとその時空間認識の形成過程の問題—
- ブ・ティ・ミン・チィ 近代化初期における知識人の教育観の日越比較
- マイリーサ 農民主体形成の新たな胎動—高畠の有機農業実践を通して—

【研究ノート】

- 金馬 国晴 学びを通じた「自己実現」—自主ゼミでの議論による学生の内面的変化をたどって—

【研究動向】

- 木村元・北林雅洋・平岡さつき 教育目標・評価論研究の検討課題をめぐって—田中耕治著『学力評価論入門』に即して—

【資料紹介】

- 小川 年史 戦後の「戸塚文庫」について(1)

第八号 1998

【特別企画】前進する「教育と社会」研究

【特別寄稿】

- 藤岡 貞彦 教育的価値の社会的規定(上)

【論文】

- 高橋 幸恵 「デカセギ」の中の子どもたち
- ブ・ティ・ミン・チィ ベトナムにおける社会変動と教育—ドイモイ10年と教育の変化—
- 呉 緑霜 清末中国の子育てに関する研究—官紳・富商・農民を対象として—
- マイリーサ 地域づくりからの環境教育への射程
- 福島 裕敏 1950年代「長欠」論の再構成—(家族—学校)関係の視点から—
- 朱 浩東 日暮里中学校農業実習に関する一考察—「地域と教育」をめぐる農業実習の展開と意義を中心にして—
- 久富 善之 英国におけるカール・マンハイム(下)—社会学的教育理論展開の社会史と個人史—

【書評への応答】

- 田中 耕治 拙著『学力評価入門』の書評を読んで

第九号 1999

【特別寄稿】特別企画 社会・国家・教育改革

- ジェフ・ウィッティ 教育改革と市民的アイデンティティ—地球規模の動向・国家レベルの動向—

- 三上 和夫 現代教育における「社会的なるもの」

- 藤岡 貞彦 教育的価値の社会的規定性(中)

【論文】

- 木村 元 1930年代教育実践構造の変容に関する研究
- 吉村 敏之 一奈良女子高等師範学校附属小学校における「学習法」実践の展開に注目して—
- 久富 善之 日本の学校の「行き詰まり」と再生—「競争的教育」の破局と学校制度の正統性の揺らぎの時代に寄せて—

- 山崎 鎮親 スタイル・スペース・創造的な解決—イギリス・サブカルチャー理論史研究：1970年代（その1）—
- 朱 浩東 中国語教育研究における課程編成論の展開と課題—「対外漢語教学」論に関する考察を中心に—

第十号 2000

【寄稿論文】第10号記念 特別寄稿

中内 敏夫 植民地における日本の民衆心性

B. パーンステイン

オフィシャルな知識と＜教育＞的アイデンティティ
エディム・アブラエフ ソ連邦崩壊後のウズベキスタンと中央
アジアにおける民族的自覚の形成

藤岡 貞彦 教育的価値の社会的規定性（下）

【論文】

山崎 鎮親 ＜教育＞実践としてのハマータウン調査—イギリス・サブカルチャー理論史研究：1970年代（その2）—

久富 善之 ベダゴジーの社会学と学校知識・学校秩序—「競争の教育」とそのゆくえ・再考—

山田 哲也 不登校の子どもを持つ家族の物語にみられるアンビヴァレンス—家族—学校関係の深層における現代的变化を讀む—

富澤 知佳子・仲嶺 政光・前田 晶子

旧制中学における学業・操行評価と学校秩序—成績資料をもとにした基礎的な考察—

木村 元・前田 晶子

桐原保見労働心理学の戦時下における展開—＜教育と社会＞の学の胎動に関する諸動—

【研究ノート】

逸見 彰彦 開発国インフォーマルセクタにおける基礎教育政策と労働力モデルの関係性の一議論—基礎教育政策唱道過程における可測性議論—

第十一号 2001

【特別企画】トランジション問題の現在

乾 彰夫 高卒無業者・フリーターの発生要因と社会的性格—近年の諸調査の批判的検討を通して—

ステイブン・J. ボール

新しい若者、新しい経済、新しい不平等

【論文】

荻原 克男 1990年代教育政策「変容」への一視角—行政コミュニケーション形式に焦点を当てて—

曾 貧 教師の環境教育認識の形成過程—西岡昭夫の生
活史に即して—

眞原 里実 教師志望者が学校へと向かう理由と結果—教師志望者へのインタビュー調査から—

木村 元 1920年代における教育目標・評価問題の諸相—『教育の世紀』誌上の論争に注目して—

西川 澄子 1920—30年代 新中間層の「新学校」支持に関する考察—自由学園にみるもう一つの家族像—

【研究ノート】

山崎 鎮親 サブカルチャー・エスノグラフィーと＜教育＞実践の間—「イギリス・サブカルチャー理論史研究：1970年代（その2）」への補足—

【追悼 B. パーンステイン】

久富 善之 追悼 バジル・パーンステイン

＜資料：パーンステインの経歴と業績＞

第十二号 2002

【特集】『中内敏夫著作集』出版完結記念

太田 素子 比較発達社会史研究の開拓した地平（覚え書き）—『中内敏夫著作集』全8巻の刊行によせて—

小林 亜子 「未だ名付けられざる歴史学」の歴史—フィリップ・アリエスと「心性」・「集合的非意識」・「表象」の歴史

【論文】

山崎 鎮親 主体の個人化からアイデンティティと実践へ—イギリス＜サブカルチャーと教育＞理論史研究：1980年代以降（その1）—

松田 洋介 1970年代高等学校政策の再検討—職業教育と普通教育の葛藤に着目して—

本田 伊克 総合学習が提起するものは何か

田仲 正江 関係性にもとづく人間形成の場作りと学ぶ主体への問い—S君の日本語教育実践から—

高瀬 雅弘 兄弟順位による進路分化と再生産—1900—1920年代旧制中学校にみる社会集団の教育戦略—

【研究ノート】

木村 元・山田 哲也

教育史研究における生活変動論の可能性—中川清『日本都市の生活変動』をもとに—

【特別寄稿】

J. ウィンティ（P. モーティモアと）

学校改善は社会的疎外の救済となるか？

【巻頭特集】中内教育学が提起するもの

中内 敏夫 (インタビュー) <教育>の理論とは何か—フォーク・ペタゴジーとメタ・ペタゴジー—

長谷川 裕 中内敏夫の<教育>の理論は<教育>における競争とどのように対峙しているか

木村 元・仲嶺 政光・前田 晶子

民衆心性の歴史的展開と<教育>—中内敏夫著『民衆宗教と教員文化』を読む—

【論文】

荒木 和華子 米国再建期における解放民教育再考—ウィリアム・ベン学校教師による黒人コミュニティ理解を中心に—

太田 美幸 スウェーデンにおける学習サークルの形成と組織化—「生涯学習社会」の組織的・思想的基盤に関する一考察—

寶 心浩 中国における高等教育拡大の地域間格差について

【研究ノート】

大西 公恵 1920年代『伸びてゆく』の展開—学習読物による「学習」の組織化—

【書評】

藤岡貞彦 佐藤一子著『子どもが育つ地域社会』を研究しよう

【特集】比較教育研究の新しい地平

エルゲン・シュリーバー 社会間関係と準拠社会の構築／近代化プロセスと外在化—比較教育研究の批判的再定義のために—

鈴木 慎一 ホームズ比較教育(論)の前哨—個人史的メモワール—

沼田 裕之 教育的伝統の連続と断絶—比較文化・思想史研究の観点から—

【特集】教育改革と教師

リスベス・ランドール スウェーデン：分権、規制緩和、擬似市場 — それから何が？

アンドリュー・ギットリン 教師による意思決定を脅かすもの—過密化の脅威—

久富 善之 評価、競争、教員文化 — 「教育改革と教師」の課題論に寄せて

特集「教育改革と教師」を企画するにあたって

【論文】

山崎 鎮親 物語と消費(1) — 学校知識問題への物語論的、消費社会論的接近

ニューカマー外国籍生徒に対する多文化教育の可能性と課題—神奈川県S中学校の選択教科「国際」における取り組みから

小林 純子 学校選択制度と教育の正統(正当)性 — 学校選択制度の比較研究に向けて

【研究ノート】

木村 元 教育人口動態史研究の射程—<教育と社会>研究への一アプローチ

【特集】教育改革と教師(続)

ゲイビー・ワイナー 個性性のなかの類似性か、それとも、類似性のなかの個性性か?—ヨーロッパにおける教師教育と専門職開発

デヴィッド・ハルビン ユートピア教育経営とリーダーシップ
中田 康彦 1990年代以降の合衆国における教師奨励をめぐる議論動向

【論文】

遠藤 吉郎 有馬朗人は、大学生の学力低下を論証し得たか? — 「多様化・個性化」政策下における「日本型高学力」の問題への一視角

木下 江美 転換期のライフヒストリー研究の枠組みに関する一考察—フレルマンの社会化概念の検討から

木村 元 1950年代の教育におけるプラクシスの論理の諸相—新制中学校における<学校—職業社会>問題に注目して

高橋 幸恵 民間教育研究運動の多様性と自由—1950年代、兵庫県但馬地域の生活綴方サークルを中心に

武石 典史 東京府における中学校受験競争問題と私立中学校—大正中後期～昭和初期の入学難実態とその解決策

二宮 祐 教育政策研究における政策過程アプローチの検討—「政策の窓」モデルの可能性

山崎 鎮親 物語と消費(2) — <私>と物語、あるいは<教育>アイデンティティを紡ぐ困難

【特集】地域と教育

- 加藤 一五 (インタビュー) 小さな町の大きな挑戦
 木村 元 漁村における草創期の新制中学校—茨城県磯浜中学校の場合
 篠田 一希 大洗町立第一中学校の歴史的展開と親・地域・PTA—進路問題と非行問題を中心に
 久富 善之 「地域社会と学校」の文化論的課題

【論文】

- 遠藤 吉郎 「新学力観」と授業スタイルの転換?—刈谷剛彦氏ら教育社会学者グループへの一批判
 奥村 育栄 ある労働者夫妻の人生の軌跡と次世代の育み—マレーシアのインド人ブランテーション労働者に着目して
 木村 元・本田 伊克
 メタ・ペダゴジーをめぐる諸問題—人間形成論の新動向とペダゴジー
 ぐんじ てるみ (郡司 英美)
 教育のエスノグラフィーにおけるねじれについて—オーバー・ラポールとしての教育をどう描くか
 杉田 真衣 性を語る授業実践の困難と可能性—大東学園高校「性と生」の授業の検討を通して
 福島 賢二 教育における機会の平等の一考察—「能力」概念に着目して
 眞原 里実 教師は「個人主義」か?—現代の教師と教師間関係変容要請

【研究ノート】

- 金子 聡 フェアな社会における教育の正義に関する一試論—アマルティア・センの平等論を手掛かりにして
 高橋 幸恵 実践記録の文学性

【論文】

- 山崎 鎮親 アイデンティティの<市場化>とセラピー的物語的アイデンティティの行方
 荒井 英治郎 戦後私学の条件整備法制の形成—「私立学校振興会法」の制定をめぐる政策過程に着目して—
 木村 元・本田 伊克
 新制中学校における制度化されたペダゴジーをめぐる諸相—1950-60年代の数学教育言説に着目して—
 二宮 祐 産業医科大学設立の政策過程—専門医、卒前教育をめぐる対立に着目して—
 仲島 愛子 看護におけるケアリング実践の困難からの考察—中堅看護師研修レポートの分析から—
 太田 美幸 「新しい社会運動」のなかの成人学習—スウェーデン女性運動によるラディカル成人教育の実践—